

済生会熊本病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお知らせください。

なお、個人情報の保護のため、診療情報はすべて個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し独自の記号を付して取り扱い、研究成果を学会や論文で発表する際も個人情報を出すことはありません。

1	研究課題名	減圧を要する fStage II/III 閉塞性大腸癌に対する術前大腸ステントの意義に関する研究			
2	対象患者	2010年1月から2014年6月の間に fStage II/III の閉塞性左側大腸癌に対して、外科的治療を受け受け、根治度 A となった症例。			
3	対象となる期間	2017年3月1日～2018年7月31日			
4	実施診療科等	消化器病センター			
5	研究責任者	役職	医員	氏名	門野 義弘
6	研究の意義・目的	減圧を要する fStage II/III 左側大腸癌に対して、根治手術を含む人工肛門造設術、術前に減圧術として経肛門イレウス管や大腸ステントが行われた症例を対象として、本邦における左側閉塞性大腸癌に対する” Bridge to Surgery” としての大腸ステントの意義を探索する。			
7	研究の方法 (使用する資料等)	2010年1月から2014年6月に各施設で緊急、かつ継続的な減圧を要する閉塞性左側大腸癌の手術を受けた患者さんについてカルテより情報を抽出し、集計する。			
8	問い合わせ先	済生会熊本病院 消化器病センター 門野 義弘 〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000（代表）			